

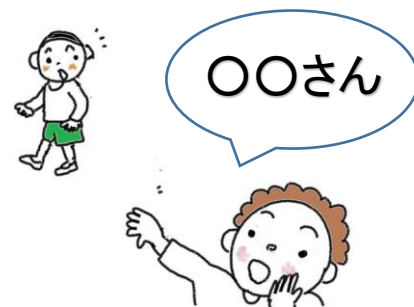


なぜ「さん」を付けて呼ぶ指導をするのか

校長 田村 稔

赤泊小学校では、人を呼ぶときには相手の性別にかかわらず、そして、時や場所を問わず常に「さん」を付けて呼ぶよう指導しています。それには、相手の人権を守るためにとっても大切な理由があります。

1 「君」は、自分よりも目下の人を呼ぶ場合に使う呼称と捉えられる場合が多いです。しかし、相手が目下であろうと目上であろうと、児童同士はもちろんのこと、教職員も児童に対してその人をしっかりと尊重しようとする態度でいることは大切です。職場においてはお互いを尊重する意味合いから「さん」付けすることはあっても、男女問わずに「君」付けすることはそれほど多くはありません。



2 また、目下の人を「君」付けしてきた中で、あえて区別するために女性には「さん」付けするようになったという説もあります。

もしも、教職員が児童に対して、男子には「君」付け、女子には「さん」付けと区別したなら、無意識に男女で言葉遣いや態度まで変わってしまうことが危惧されます。そんな教師の言動は、目に見えない指導、明確に意識されない指導となります。そして、児童は無意識のうちに性別により社会的に期待されるものに敏感になってしまいます。そして、それは児童同士でも同じです。男であろうとも、女であろうとも、その人を丸ごと認め尊重することが大切です。

3 さらに、LGBTQの児童の場合、本来望んでいるものとは違う呼称をされることによって人知れず傷つき、自己肯定感を下げることが予想されます。＊ これについては後述します。

赤泊小学校では、女性差別や年齢差別、被差別部落問題をはじめとしたあらゆる差別の解消、人権尊重の精神の醸成など、これからの社会を生きる子どものためには、日常的に頻繁に使う呼称として「さん」付けをするとともに、その趣旨をしっかりと理解できるよう指導する必要があると考えています。

LGBTQ+の方々の人権を守るという観点から

【LGBTQ+とは】

レズビアン「L」、ゲイ「G」、バイセクシュアル「B」、トランスジェンダー「T」、クエスチョニング「Q」(性自認が定まっていない)の頭文字をつなぎ、さらにこれら以外の性的マイノリティを「+」で表したもの。

- LGBTQ+の方から、学生時代に自認する性別とは別の呼ばれ方をして辛い思いをしたという話を聞くことが多くあります。
- 10代のLGBTQ+の方々のうち、48%(!)が自殺を考えた経験があり、実際に自殺未遂の経験があるのは14%、自傷行為に及んだのは38%もいるという調査結果があります。(認定NPO法人ReBit『LGBTQ子ども・若者調査2022』による。2022年9月セクシュアル・マイノリティに対するアンケート調査より)

(裏面に続く)

この調査で寄せられた声を紹介します。

「自認する性で生きられないことが死にたくなるくらい辛いことだと分かってほしい。何気ない言葉に沢山傷ついてるのを知ってほしい、気付いてほしい。」

「胸が膨らんだり生理が始まったりと身体が変化すること、世の中の“普通”を少しずつ押しつけられていくことによって、自分の中で違和感が膨らみ、死にたいという思いを抱くまでになりました。」



そして、これらの方々は誰にも（親にすら！）悩みを打ち明けられず、人知れず苦しんでいる場合が多いのです。見た目では分かりません。

●性自認がはっきりしてくる年代は人によって違います。小学生ではまだはっきりと自認する性が決まっていなくても考えられますが、3才くらいの幼児期から既に体と心の性の不一致を自覚する方もいます。

●LGBTQ+の方々の割合は、調査する機関によって違いはあるものの、おおよそ10%前後だと言えます。ある程度的人数がいる集団であれば、この割合が変わることはありません。つまり、50人の集団であれば5人程度はいると考えられるのです。繰り返して述べますが、見た目では分からないのです。

当校にそのような子がいるかどうかは分かりません。でも、いてもおかしくないのです。周囲の大人は悩んでいる子どもたちがいるという想定で、子どもが死にたくなるような働き掛けは今すぐに止め、その子のありのままを受け入れ、自分自身を肯定できるような働きかけと環境設定をする必要があるのです。

「悪気はなかった」「ついつい癖で」などと思っていたとしても、何気ない日常会話で相手を深く傷付けている状況があれば、そこに悲劇は起こるのです。

●思春期の子どもの自殺には衝動性があります。「『さん』付け指導は急がず、時代が追いついてきてから」では間に合わないのです。今から徹底して取組を強めていかななくてはなりません。どうか「さん」を付けて呼ぶことについて、全てのご家庭の皆様からご理解ご協力をお願いします。全ての子どもたちの笑顔輝く学校のために。そして子どもたち自らが、全ての人々が尊重される学校を創るために。

5月の予定

1	月	短縮5時間 児童自宅確認①
2	火	短縮5時間 児童自宅確認② ALT 児童朝会(JRC 登録式)
3	水	(祝)憲法記念日
4	木	(祝)みどりの日
5	金	(祝)こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	尿検査2次
10	水	歯科検診 尿検査2次(予備)
11	木	クラブ①
12	金	ALT 音楽朝会(応援練習)
13	土	PTA奉仕作業
14	日	
15	月	集金日
16	火	

17	水	フッ化物洗口 5限放課
18	木	委員会③
19	金	ALT
20	土	PTA環境整備作業予備日
21	日	
22	月	
23	火	運動会予行
24	水	運動会予行予備日 フッ化物洗口 スクールカウンセラー来校
25	木	クラブ②
26	金	運動会前日準備 ALT
27	土	運動会
28	日	
29	月	27日の振替休業日
30	火	るるぶ週間～6/5 生活目標講話
31	水	フッ化物洗口

赤泊小学校ホームページをどうぞ御覧ください。



